

次期「ふじのくに文化振興基本計画(案)」に対する パブリックコメント意見一覧及び県の意見(案)

1 意見募集手続きの概要

計画策定に当たって、県の「情報提供の推進に関する要綱」に基づき、県ホームページへの掲載により計画案を公表し、県民意見の募集を行った。

2 意見募集の期間

令和3年12月22日(水)～令和4年1月12日(水)

3 意見提出件数

5件

(内訳) アーツカウンシルしずおかのプログラム・ディレクター等の意見:4件
県文化財団職員の意見:1件

4 主な意見

No.	パブリックコメントでの意見	意見への回答及び対応(案)
1	高齢者や外国人、福祉施設等に所属していない障害のある人など、「若者」以外に対する具体的な取組(表現の機会の提供、人材育成)が欲しい。	ふじのくに芸術祭等において年齢、国籍を問わず県内に住むあらゆる人々を対象とし、充実させていくなど、課題を意識して施策を推進していきます。
2	「一人ひとりが表現者となる」というのは、ピラミッドの頂点を目指すような芸術だけを指すのではないのではないか。 子どもへの文化教育についても、関わる大人側の「一流」、「トップレベル」であることが偏重されている。	御意見を参考に、「上質な」という記載を改め、「多様な」「多彩な」などとします。
3	県文化財団が実施する文化事業及び指定管理事業に関して、位置付けを明記するべき。	県文化施設や指定管理者については、参考資料に掲載して位置付けを明確にするとともに、各重点施策において、県文化財団の取組について記載します。
4	文化芸術と社会課題を結びつけることに対する一般的理解が広がっていない中で、計画内での社会課題に対する言及が少ない。各地域ごとの特徴的な社会課題を羅列することで示唆を計画に加えられるのではないかと。	記載された項目のみが社会課題であるといった誤解や、各地域への偏った認識となることを避けるため、具体的な社会課題の明記はしないこととしますが、社会課題についてはアーツカウンシルしずおかと共通認識を持って取組を進めていきます。
5	計画期間の4年間の「参加者の経年変化」を追う定性的な評価指標の設定はできないか。 母数から見る割合としての定量的指標だけでなく、個々人の成長に対してどのように影響があったかを図る指標があると良い。	御意見を参考に、適切な評価設定を引き続き検討していきます。